

ご相談は担当書記にご連絡ください
 担当書記：工藤 真由 080-5699-0138
 秋山 風夢 090-4246-1871
 メール：kudou@denken-shibuya.jp
 akiyama@denken-shibuya.jp

ほくぶの日々

発行：北部分会
 編集：北部分会教宣部
 住所：渋谷区幡ヶ谷2-18-6
 電話：03-6304-2315



7.26 空の問題のピースツアー



麻布に米軍基地のヘリポート

青山公園に隣接し、国会議事堂からわずか3キロメートルの場所に、米軍基地があります。ここには、横田基地・座間基地・横須賀基地から、軍用機のブラックホークが日に数回離着陸するヘリポートがあり、様々な問題を起こしています。

※横田空域
 首都圏の空の大半は東京都の西部にある米軍・横田基地が管理する横田空域になっています。

※日米地位協定
 更に、東京の空300mをの米軍空域と云うものもあり、日米地位協定に基づき、米軍が日本の法の規制を受けずに管制業務を行うことができる空域です。

(詳しくは、その特権の正体に迫るドキュメンタリー映画「東京上空300メートル」で解説されています)

これにより、ブラックホークが都庁の横150m飛行したり、麻布のヘリポートの周りには着陸のため更に低空で飛行し、

近隣住民は、騒音と危険を伴う不安を感じています。

昭和35年、日米安保条約改定とともに、旧・日米安保条約時の日米行政協定を引き継ぐ「日米地位協定」の条約ができました。

結局は東京の空を米軍が自由に使える条約です。確かに世界では戦争が行われています。日本の近隣の国に怪しい国があるのも事実です。戦争は無いほうが良いに決まっていますが、麻布でブラックホークを見かければ、横田基地の周辺住民と変わらない感情を持つかもしれません。



軍用機のブラックホーク

ピースツアーは、支部の前からマイクロバスでスタート。田中書記が近隣のバスガイドを行いました。

途中白須常任が、丹下健三氏設計の国立屋内競技場の曲線屋根について、当時パソコンの普及がされていなかった時代の秘話を説明。レジュメを見ながら麻布米

東京タワー

今回のピースツアーでは、ヘリポートの後、東京タワーを見学しました。

東京タワーの展望台から上の部分、タワー全体の鉄骨の重量の約3分の1の鋼材1,000トン~1,500トン。その鋼材は、戦地で役目を終えた約90両の戦車(M4シャーマン戦車とM47パットン戦車)を米軍から買い取り、日本の最新技術によって高品質な鋼材へと生まれ変わり、建設業の技能職人の手によって作られました。

東京タワーは1958年の開業した日本のシンボルタワーです。



東京タワーの中の東京タワー

屋敷懇親会はフッフエダイニング



左；大鐘弘資記者 右；坂井孝さん

軍基地まで向かいました。その後、東京タワーで自由行動。最後は、東京プリンスホテルのランチブッフェを楽しみました。

私は、普段あまり動かないせいか、少し食べればお腹を満たしていますが、ブッフエだと目が欲しくなって、少しづつ取っても皿いっぱいになり、普段の3倍位食べてしまいました。

今回、毎年夏のビアパーティーで会っている同世代の坂井さんご夫婦とも一緒に、有意義な一日でした。

夏は終戦記念で平和を考えるイベントが多くありますが子供の足が向きません。

今年のピースツアーは、定員26名、子供の参加は1名でしたが、次回はより多くの子供に平和について考える機会を経験できるツアーの企画を希望します。

【北部分会教宣部 大鐘弘資】

お知らせ

8月21日
 金曜日の京

王屋上のビアパーティーは、組合員が多く集まり、分会の交流が目的です。これを皮切りに、拡大運動のご協力をお願い致します。

北部分会役員一同